

英語科学習指導案

日 時 平成 29 年 11 月 14 日

授 業 者

展開学級

1 単元名 Lesson 8 “School Life in the USA”

NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1

2 単元の目標

- 聞き手にわかりやすいように人物についてのスリーヒントクイズを出すことができる。(イ 外国語表現の能力)
- アメリカの中学校生活についての説明文を読み、そこに書かれている事実を読み取ることができる。
(ウ 外国語理解の能力)
- 間違ふことを恐れず、相手に自他の行動や状況を伝えている。(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 言語材料に関する知識や文法を身につけている。(エ 言語や文化についての知識・理解)

3 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
《言語活動への取組》 ① 間違ふことを恐れず、相手に自他の行動や状況を伝えている。	《話すこと》 ① 聞き手にわかりやすいように人物についてのスリーヒントクイズを出すことができる。	《読むこと》 ① アメリカの中学校生活についての説明文を読み、そこに書かれている事実を読み取ることができる。	《言語についての知識》 ① 言語材料に関する知識や文法を身につけている。

4 単元について

本単元の内容は、同級生のポールがアメリカの中学校の授業の様子を写真を見せながら紹介し、それに興味を持った久美がポールに質問をするという場面である。さらに **USE-Read** では、アメリカにある姉妹校のリサからのメールを読み、アメリカの中学校生活について知識を深めるという場面設定である。これらの場面で、登場人物たちが写真などを用いて説明するが、被写体となる人物が何をしているかを説明するのに現在進行形が使われている。そこで、今行っている行動を伝える現在進行形は、既習の現在形とは違うことを認識させたい。さらに、現在の行動または写真などに写る人物の行動などを説明するうえで、重要な現在進行形の表現を使用する力を養いたい。また、本校の **CAN-DO** リストでは、「話すこと（発表）」において、「自分や身近なものについて6文以上の英文で発表することができる」ことを目標としている。教科書の **Speak** を扱う際は、**Word Bank** やすらすら英単語で学習した表現を積極的に使うように促し、生徒自身の表現の幅を広げたい。

5 生徒の実態

6 指導と評価の計画（7時間）

時間	○ねらい・学習活動	評価規準	評価方法
1 本時	○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。 ○現在進行形（肯定文）を用いた文の構造を理解する。 ・現在進行形（肯定文）を用いた文を聞き取る。 ・現在進行形（肯定文）を用いた文の構造を知る。 ・現在進行形（肯定文）を用いた文を使えるように練習する。	アの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
2	○Part 1の本文の内容を理解し、音読する。 ○現在進行形（肯定文）を用いた英文を聞いたり話したりする。	アの① ウの① エの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
3	○現在進行形（疑問文・応答文・否定文）を用いた文の構造を理解する。 ・現在進行形（疑問文・応答文・否定文）を用いた文を聞き取る。 ・現在進行形（疑問文・応答文・否定文）を用いた文の構造を知る。 ・現在進行形（疑問文・応答文・否定文）を用いた文を使えるように練習する。	ウの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
4	○Part 2の本文の内容を理解し、音読する。 ○現在進行形（疑問文・応答文・否定文）を用いた英文を聞いたり話したりする。	アの① ウの① エの①	活動の観察 後日ペーパーテスト
5	○USE-Readの内容のおおすじをつかむ。 ・与えられたタスクに答える。	ウの①	ワークシート
6	○USE-Readの内容を整理する。 ・与えられたタスクに答える。 ・本文の音読練習をする。	ウの①	ワークシート
7	○人物についてのスリーヒントクイズをつくる。 ・現在進行形の文の構造を復習する。 ・教科書を参考に、スリーヒントクイズを作り、友達と出し合う。	イの①	活動の観察 ワークシート

5 本時の活動

(1) 本時の目標

間違ふことを恐れず、相手に自他の行動や状況を伝えている。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

学習過程	○学習内容・活動	指導上の留意点	評価
挨拶 (1)	○英語で挨拶をして、質問に答える。 T : How are you today?	・英語を使って学習する雰囲気を作る。	
Warming Up① すらすら英単語 (5)	○すらすら英単語 (別紙1) をペアで行う。 ・じゃんけんに勝った生徒は日本語、負けた生徒は英語を言う。 ・教師が Change ! と言ったら、生徒は一つ左の席に移動する。	・全体が積極的に取り組んでいるかを観察する。 ・スムーズにペアが変わるようにサポートする。	
Warming Up② ラインゲーム (7)	○本時の学習で使用する9つの動詞を使ってラインゲームを行う。 例 : T : What sport do you play? S1 : I play baseball. T : Do you study everyday? S2 : Yes, I do. T : What TV program do you watch? S3 : I watch news.	・英語を苦手とする生徒には教師がジェスチャーを使って、教師の質問内容を理解できるようにする。 《使用する動詞》 play、watch、swim、study、eat、drink、listen to music、clean、run	
導入 (8)	○クラスメイトの行動を見ながら現在進行形の文を聞く。 例 : T : Who plays soccer in this class? (手を挙げさせる。) S1 and S2 play soccer. (前に来てもらう。) You play soccer every day. Now, please look at them. Start! (S1 と S2 を指さしながら) You are playing soccer. (強調して2回繰り返す。) Stop! ○文の形の違い、行動の違いについて気づいたことを発表する。 ○文の形の違いをホワイトボードで確認する。 You play soccer. You are playing soccer. ○本時の目標をホワイトボードで確認する。	・協力する生徒に Start! でボールをパスし、Stop! ですぐにやめるように伝える。 ・文の形の違いを生徒から言うように促す。	
今、している動作を英語で言ってみよう。			

<p>展開① (10)</p>	<p>○音を聞かせ、何をしているか言う。 例： T : Now, listen to the sound. What am I doing? (卓球をやっている音) S : Table tennis. T : You are... S : You are playing table tennis. T : Right. Next. What am I doing? ○絵を見ながら教師の後に続いて言う。 例： T : Look at this picture. T : Watching TV. S : Watching TV. T : Swimming. S : Swimming. ○教師のジェスチャーを見せ、何をしているか言う。 例： T : Now, I'll show you, so please say “You are ...” (教師が食べるジェスチャーをして) S : You are eating.</p>	<p>・音だけを聞かせ、何をしているか言わせた後、映像を見せて場面を確認させる。</p> <p>・動詞の ing 形の発音を繰り返し確認する。</p> <p>《使用する動詞》 play、watch、swim、study、eat、drink、listen to music、clean、run</p>	
<p>展開② (17)</p>	<p>○ ジェスチャーゲーム ① 4人グループを作る。 ② 教師の説明、模範活動から活動のやり方を理解する。 ③ ゲームを始める。 例： S1 : (カードを引き、ジェスチャー) S2 : You are playing soccer, right? S1 : Yes. S2 : (カードを引き、ジェスチャー) S3 : You are studying, right? S2 : Yes. ④ メンバーを変えてもう一度行う。</p>	<p>・実演をして、短時間でわかりやすく説明する。</p> <p>・スローラーナーに解答のヒントを伝え、支援をする。</p> <p>・活動中は英語のみで行うよう促す。</p> <p>《ゲームのやり方》</p> <p>・一人がカード(別紙2)を引き、ジェスチャーをする。</p> <p>・次の順番の人が答える。</p> <p>・班の他のメンバーは正しく言えているか判定する。</p> <p>・時間内に答えた数をグループで競う。</p>	<p>活動の観察 (関心・意欲・態度)</p>
<p>まとめ (2)</p>	<p>○教師がジェスチャーをして、何をしているか言う。</p>	<p>・理解度を確認するために生徒3名に問いかける。</p>	

(3) 本時の評価

間違ふことを恐れず、相手に自他の行動や状況を伝えたか。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

評価方法

間違ふことを恐れず、相手に自他の行動や状況を伝えたか。

- 個人・全体で発話する際、躊躇なく発話しようとしていることに加え、ジェスチャーを使って積極的に活動していれば「十分満足できる状況」(A)と判断する。
- 個人で発話する際は、躊躇してしまうが、全体では積極的に発話しようとしているならば「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。
- 個人・全体で発話する際、積極的に発話しようとしていなければ「努力を要する」(C)と判断する。